

志津公民館

志津地区の概要

志津地区は、佐倉市の行政区域の西部に位置し、昭和29年の町村合併による旧志津村の行政区域が現在の志津地区となっている。

なお、宅地開発等により地域人口が年々増加し、令和3年3月末現在では、佐倉市の総人口173,216人に対し志津地区の人口が75,867人となっており、その割合は43.8%であり、市内の地区別における居住人口の最も多い地区となっている。

また、京成電鉄が中央部を東西に走り、駅前（志津駅・ユーカリが丘駅）を中心に街並みが整備され、首都圏のベッドタウンとして開発が進んでいる。ユーカリが丘駅前には、複合型大規模商業施設が並びペDESTリアンデッキ（立体遊歩道）で結ばれるなど、近代的な街づくりへと生活環境などが発展してきている。しかし、市街化区域を一步外れると田園風景が広がり自然豊かな環境が残る地区となっている。

志津公民館は昭和48年10月に開館し、京成志津駅から徒歩5分の立地にあったものを、老朽化と複合施設化のため、旧志津出張所跡地に「志津市民プラザ」として、平成27年11月末に新たにオープンし、多くの地域住民に利用され生涯学習の拠点となっている。

志津地区のデータ

【令和3年3月末現在】

- 志津地区：面積 18.52km² （佐倉市：面積 103.69km²）
- 志津地区：住基人口 75,867人 （佐倉市：住基人口 173,216人）
- 志津地区：人口密度 4,096人/km² （佐倉市：人口密度 1,670人/km²）

1. 公民館運営計画

新型コロナウイルス感染拡大防止

施設利用者等の健康と安全を最優先に、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じていく。

感染状況に応じて、臨時休館や一部開館などを実施する。

開館中は、施設内の消毒を適宜実施、感染予防の啓発のほか、状況に応じて、部屋の定員や集団感染のリスクが高いとされている活動の利用を一部制限する。

市公共の集会施設合同で策定した『新型コロナウイルス感染症拡大防止の注意事項』及び『「集団感染拡大のリスクがあると考えられる活動」における施設利用の留意点』を当面の間適用していく。

運営方針

佐倉教育ビジョンを基本として、地域の実態や動向に立脚し、住民の自主活動を育て援助しつつ郷土づくりの意識を一層高める。

また、各人の生活課題をみつめ、生涯学習の場としての適切な運営に努める。

努力目標

- 新型コロナウイルス感染拡大防止に努める。
- 多様な学習機会の提供をはじめ、住民の幅広い学習活動の支援。
- 学校を含めた関係機関との有機的な連携による事業の推進。
- 学習した成果が地域社会に還元され、地域の人材が活用される環境づくりの醸成。
- 複合施設（志津市民プラザ）としての機能を効果的に発揮するため調整を行う。

施設利用

開館日・開館時間

日曜・月曜・祝日 9時～17時

火曜～土曜 9時～21時

*夜間の利用申込みが3日前までにない場合は17時まで

利用区分

1時間単位（9時から21時）

休館日

第2・4月曜日

年末・年始 12月28日～1月4日

2. 公民館利用状況

年度別利用状況

区分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
利用件数 (件)	7,068	7,273	7,453	6,888	2,177
利用人数 (人)	92,379	91,992	92,177	85,649	20,134
開館日数 (日)	333	333	333	309	235

※市内公民館の新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対応

令和 2 年 4 月 1 日～5 月 3 1 日・・・臨時休館

6 月 1 日～6 月 3 0 日・・・行政利用のみ

7 月 1 日～1 0 月 3 1 日・・・一般利用（利用制限付き）

1 1 月 1 日～令和 3 年 1 月 2 2 日・・・一般利用（一部利用制限付き）

（1 月 8 日～1 月 2 2 日は緊急事態宣言により開館時間は午後 8 時まで）

1 月 2 3 日～3 月 2 2 日・・・行政利用及び健康診断等必要緊急な事業のみ

3 月 2 3 日～3 月 3 1 日・・・一般利用（一部利用制限付き）

令和 2 年度部屋別年間稼働率

施設名称	利用可能回数	利用回数	稼働率
2 1 0 会議室	2,452	977	39.8%
2 2 0 会議室	2,441	861	35.3%
2 0 1 会議室	2,438	514	21.1%
2 0 2 会議室	2,449	565	23.1%
調理室	0	0	0.0%
3 1 0 会議室	2,433	590	24.2%
和室	2,433	237	9.7%
4 0 1 会議室	2,436	460	18.9%
アトリエ	2,433	614	25.2%
大会議室 A	2,436	935	38.4%
大会議室 B	2,435	785	32.2%

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育	2歳児と親の教室 ぼっぼちゃんのお家へいこう	2歳児 と保護者 10組		親子遊びを通して、子どもの成長を見守り、子どもと親が共に成長する「育自」を体験する講座。親同士の交流を図り、地域の中で、子育てを考える。
	笑顔で子育て応援講座	子どもと保護者		子どもが健全に育つための親子で参加できる体験学習講座を行い、親子のふれあいを図る。
青少年教育	志津子ども教室	小学生	5月～3月 全3回 12/12 21人 12/19 48人 12/19 20 110人	体験や学習を通じて、子どもたちの「つくる楽しさ」「わかる喜び」「できる自信」を育む。 ・12/12 志津地区に伝わる辻ぎり体験 ・12/19 お正月を迎えるミニ門松作り ・12/19.20 凧作り教室 (申込者へ配布のみ)
	「中高ちょこボラ」中学生・高校生のための公民館職場体験学習	中学生 高校生		青少年が職場体験学習をすることで、地域の人とのふれあいや公民館で働く職員と接することを通して、社会的自立や豊かな人間性を育むことを期待する。
成人教育	しづ学入門	成人 44人	5月～2月 19回土曜日 開講式・記念講演 学習発表・閉講式 講座 6/1～2/8	郷土の歴史・文化・自然などについて学び、自らの学び経験をとおして地域社会の活性化に貢献し、心豊かで住みよい生活と地域の実現を図る。 平均年齢：72.1
	健康とくらし	成人 40人	5月～2月 19回火曜日 開講式・記念講演 学習発表・閉講式 講座 6/4～2/4	地域の一人ひとりが自らの生活を見直し、心身ともに豊かで充実した人生を送るため、様々な情報を学び地域に還元することを図る。 平均年齢：73.2
	趣味道楽入門	成人 45人	5月～2月 19回木曜日 開講式・記念講演 学習発表・閉講式 講座 6/13～2/6	空いている時間を有効活用する手段を学びながら、協働しつつ歩んでいける仲間づくりと、学んだことを地域に還元することができる人材育成を図る。 平均年齢：71.9
	おやじの食事学	成人男性 25人	5月～2月 19回土曜日 開講式・記念講演 学習発表・閉講式 講座 6/1～2/8	食生活の大切さや和食を基礎とした食事づくりの楽しさを体験しながら、地域の中で仲間づくりと地域で活躍するきっかけをつくる。 平均年齢：71.4

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
	特別講座 (公開講演会)	成人 30人	8月～2月 4回	しづ市民大学の講座や合同講演会を市民にも公開し、だれもが参加できる講座を開催する。
	風情のある 寄せ植え講座 (秋・冬)	成人 各10人	10月・12月 各1回 10/7 10人 12/3 8人	コロナウイルス感染症のため、市民の方が心身が疲れ切っている中で、制作を通して心に余裕と潤いを持つひと時とし、きれいなまちづくりの一助とする。
	包丁について学ぶ	成人 6人	12月 1回 12/12 7人	コロナウイルス感染症のため、ステイホーム(在宅)する時間が増えている現状から、料理に興味を持つ方も増えている。料理に欠かせない包丁に関する歴史、製法、その材質等幅広く学び、実際に包丁研ぎ体験を行う。
	佐倉学特別講座	成人 30人	8月～2月 12/5 1回 26人	しづ市民大学の講座や合同講演会を市民にも公開し、だれもが参加できる講座を開催する。 ・百年前に流行したスペイン風邪と佐倉市域の人びと-歴史から何を学ぶか-
成人教育 佐倉学	佐倉学入門講座 井野長割遺跡を学ぶ	成人 15人	11月～2月 全4回 11/4 10人 11/11 9人 11/18 11人 11/25 8人	井野長割遺跡を題材に、縄文時代の志津地区について知識を深め、地域の遺跡を学ぶことで、郷土愛や歴史文化への意識を高める。 11/4 座学 11/11 座学 11/18 現地遺跡見学 11/25 佐倉市立美術館(展示見学・解説)
	佐倉学入門講座 佐倉道を学ぶ	成人 20人	10月～3月 1回 3/18 12人	かつて佐倉城主が参勤交代で通行した「佐倉道」について、城下町佐倉や周辺地域の歴史も含めて理解を深める。 3/18 午前：座学 午後：散策 勝田台～臼井
	佐倉学入門講座 成田道を歩く	成人 10人	11月～12月 全5回 11/19 10人 11/26 10人 12/3 10人 12/10 10人 12/17 予備日	「佐倉学」の普及を図りながら、郷土愛を育み、関心を高めること。また、「佐倉の歴史について学んでみたい」という方々を対象に、佐倉市の歴史を学習することで、郷土佐倉の創生に繋げることを目的とする。 ・11/19 座学 総論 ・11/26 散策 佐倉新町～京成酒々井駅 ・12/3 散策 京成酒々井駅～公津の杜駅 ・12/10 散策 公津の杜駅～成田山総門
	第47回志津公民館祭	公民館利用サークル 約200団体	10月	学習成果の発表や展示を通して、地域住民の交流と学習機会提供の場とする。

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
団体 育成	調理室利用サークル 懇談会	調理室利用サークル		調理室の効果的な活用と適正な運営・衛生管理の向上を考え、懇談を通してサークル間の交流を図る。
	志津ジュニア・ リーダーズ・クラブ (志津JLC)支援	1団体		「志津JLC」が行う各種事業への援助を通じて、JLCの養成を図る。子ども会等の交流を図る機会を設け、JLCが活動する場とする。
	公民館園芸ボランティア団体 志津園芸サークル「花の輪」への支援	該当団体	通年	公民館における園芸・学習活動を支援する。
	公民館インターネット 抽選申込体験	公民館利用者	12/10~23 延べ36人	インターネット抽選に向けてパソコンやスマートフォン等に不慣れな方々に体験してもらう。
広報 活動	公民館だより 「しづ」の発行	志津地区 各戸配布 市内主要施設 配布	4/15・10/1 各23,000部発行	志津公民館事業の案内・情報などを提供し、公民館活動への理解と認識を深めるとともに、各事業の参加募集を行う。

1. 家庭教育事業

2歳児と親の教室 ぽっぽちゃんのお家へいこう

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

笑顔で子育て応援講座

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

2. 青少年教育事業

佐倉っ子塾 志津子ども教室

① 開設趣旨 自分で手作りする機会や体験する機会が少なくなったと言われる現代において、佐倉の地域素材を織り交ぜながら、体験や学習を通して、子どもたちの「つくる楽しさ」「わかる喜び」「できる自信」を育む機会とする。

② 募集対象 小学生

③ プログラム

回	実施日(曜日)	学習テーマ	学習内容	講師
1	12月12日(土)	志津地区に伝わる辻ぎり体験	辻ぎり作り親子体験	志津歴史同好会
2	12月19日(土)	お正月を迎えるミニ門松作り	親子でミニ門松を作る	志津地区社会福祉協議会
3	12月19日(土) 12月20日(日)	凧作り教室	インターネット配信を利用して凧作りを学ぶ	佐倉市青少年相談員連絡協議会

④ 講座を終えて すべての講座を職員及びスタッフが実施するうえで何度も話し合いの場を持ち、できる限りの感染症対策を行って実施した。参加した子どもたちのアンケートでは9割以上が楽しかったと好評だった。今年度は、感染症拡大防止の為、実施できる時期を見極めながらの実施となったが、保護者へのアンケートでも、少ない外出の機会や制限の中での実施だったが感謝の内容が多く寄せられていた。これからも、できる限りの機会を提供できるように考えていきたい。

佐倉っ子塾 「中高ちょこボラ」中学生・高校生のための公民館職場体験学習

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

3. 成人教育事業

しづ市民大学（第30期）

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

風情のある寄せ植え講座（秋・冬）

- ① 開設趣旨 コロナウイルス感染症のため、市民の方の心身が疲れ切っている中で、制作を通して心に余裕と潤いを持つひと時とし、きれいなまちづくりの一助とする。
- ② 募集対象 成人 各10人
- ③ プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	10月 7日（水）	秋の寄せ植え体験	日本ハンギング バスケット協会 高橋 洋子
2	12月 3日（木）	冬の寄せ植え体験	

- ④ 講座を終えて 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、受付時に検温と健康チェックを実施し、受講生の距離をとり講座を実施した。講座は、今日植える苗の特長や長持ちさせる方法、「バエル」配置の仕方などを学んでから体験を開始した。受講者は、講師に積極的に質問をし、うまく形を整え、皆、素晴らしい作品に仕上げた。講師の話術もあり、和やかな雰囲気講座は進んでいった。アンケート結果を見ると、全員が「満足」と答え、「これで新たな気持ちで新年を迎えられる」と。また、講座途中にも関わらず「次回は、いつですか？」等の意見をいただいた。来年度以降も、テーマを変えながら、状況を見つつ、もうしばらく続けていきたい。

包丁について学ぶ

- ① 開設趣旨 コロナウイルス感染症のため、ステイホーム（在宅）する時間が増えている現状から、料理に興味を持つ方も増えている。料理に欠かせない包丁に関する歴史、製法、その材質等幅広く学び、実際に包丁研ぎ体験を行う。
- ② 募集対象 成人 6人
- ③ プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	12月12日（土）	包丁について学ぶ（座学・包丁研ぎ体験）	調理師 山崎 憲

- ④ 講座を終えて コロナウイルス感染症の対策として、定員を絞り講座を行った。当日は、入室時に検温と、施設利用に関するチェック表の記入をお願いし、席の間隔を空けて実施した。講座は、座学から始まり、包丁に関する歴史、製法、その材質等幅広く学び、実際に包丁研ぎ体験を行った。座学については専門的な話もあったが、受講生は、講師に積極的に質問をし、体験についても熱心に行い、志津公民館に設置されている全ての包丁を研いだ。アンケート結果を見ると、全員が「満足」と答え、自由意見欄にも、「家でも実践してみる」「事業の継続を望む」などの意見があり、好評であった。

佐倉学特別講座 百年前に流行したスペイン風邪と佐倉市域の人びと

-歴史から何を学ぶか-

- ① 開設趣旨 100年前に世界中で流行した流行性感冒（「スペイン風邪」「世界風邪」）が人びとの生活にどのような恐怖を与えたか、また、人びとはどのようにして、この恐怖を乗り越えたのか等を見ながら、現在、我々が経験している新型コロナウイルス感染（「コロナ禍」）拡大防止対策を考える。先人が経験した出来事（歴史）から日常生活の中で出来ることを探る。
- ② 募集対象 成人 30人
- ③ プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	12月 5日（土）	佐倉市の感染症に関する歴史を学習する	佐倉市史編さん 委員 中澤 恵子

- ④ 講座を終えて 入室時に検温と、施設利用に関するチェック表の記入をお願いし、席の間隔を概ね縦横2mを空けて実施した。受講生の健康を確認後にアナウンスをし、当日の諸注意等を行った。今回の、欠席者は2名だったが、当日の飛込み参加者が2名いた。講座は、計2時間の座学。前半はレジュメを使い、スペイン風邪の概要から、日本国内の感染者の状況と同時期の千葉県内の感染者の状況を表等から学び、当時の予防方法や対策等を学んだ。後半については当時の史料を基に佐倉市域の当時の状況を学び知る事ができた。講座後のアンケートからは、受講者の満足度は高く、100年前の対策が現在と全く重なっていることに驚かされていた。また、現在の状況を後世の残すことも今後重要となることも学んだようである。

佐倉学入門講座 井野長割遺跡を学ぶ

- ① 開設趣旨 井野長割遺跡を中心に考察し、縄文時代の村の姿や生活・役割などを知ることにより、当時の志津地区の自然や歴史・地理・生活状況を理解する。また、学習成果を通して地域に対する知識を深め、郷土の成り立ちを知ることにより、郷土愛や歴史文化を継承し、地域の連帯と仲間づくりを図る。
- ② 募集対象 成人 15人
- ③ プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	11月 4日（水）	考古学入門－佐倉の縄文時代－	文化課職員 松田 富美子
2	11月11日（水）	井野長割遺跡とは－遺跡概要紹介－	印旛郡市文化 財センター 小倉 和重
3	11月18日（水）	遺跡探訪－知識を深める－ （現地見学）	文化課職員 松田 富美子
4	11月25日（水）	遺跡の経緯－今後について－ （佐倉市立美術館展示見学・解説）	文化課職員 松田 富美子

- ④ 講座を終えて 「井野長割遺跡」は、印旛沼南岸の台地上に位置する縄文時代後・晩期（今から約4000～3000年前）に栄えた集落跡で、ドーナツ状に配置された盛土群により「環状盛土遺構」が明瞭に存在しており、平成17年3月に国の史跡に指定され佐倉市の重要な文化遺産となっている。この講座では、志津地域に存在する身近な市民文化資産を教材とし地域を見直し・新しい佐倉の文化について考え、共に創り上げていく活動『佐倉学』を展開していくステップとなることを願って実施した。今回の講座については、市立美術館における展示を観覧する回もあ

り、遺跡から出土した遺物を実際に見ることにより、受講者は座学や現地見学で得た知識を再認識することができた。全4回と短期ではあったが、受講後も講師への質問が多く学習意欲が高い講座であったことがうかがえた。

佐倉学入門講座 佐倉道を学ぶ

- ① 開設趣旨 1610年（慶長15）に土井利勝が佐倉城主となり、翌年から鹿島山に城を築き、城下町造りを始めた。佐倉城及び佐倉城下町造成より400年が経過し、かつて佐倉城主が参勤交代で通行した「佐倉道」や城下町佐倉の周辺地域の歴史について理解を深め、街道に関する醍醐味を感じてもらいながら郷土への関心を高めていく。
- ② 募集対象 成人 20人
- ③ プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	3月18日（木）	佐倉道とは（総論） 座学	村田 一男

- ④ 講座を終えて この講座は、佐倉・城下町400年記念事業の一環として、平成22年度から開設していたが、事業が終了となった。しかし、継続を望む声が多く寄せられたため継続事業とした。今回は、平成28年度の「佐倉道を歩く」事業に参加していた一部の受講者が、街道の歴史を後世に残す、残したいとグループでの学習を継続し、自分たちで学んだこと基に講座の講師として実施をしたものである。今回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、全行程とまではいかなく、一部の区間を「座学と散策」で少人数ではあったが一本番と同じ形で行った。座学の後、座学で学んだ区間を散策する形で実施し、散策中は常に記憶の確認ができた。実施後の反省会では、参加者より実施後の声を直接尋ね、概ね好評な結果をいただいた。今回の散策では受講生同士の親睦が図れた。この事業を継続することで、交流の場となり地域貢献につながる礎が出来、学習意欲の向上も図れると感じた。今後は、郷土佐倉への愛着や誇りを持ちながら、地域づくりへの一層の強化に繋がる事に期待したい。

佐倉学入門講座 成田道を歩く

- ① 開設趣旨 「佐倉学」の普及を図りながら、郷土愛を育み、関心を高めること。また、「佐倉の歴史について学んでみたい」という方々を対象に、佐倉市の歴史を学習することで、郷土佐倉の創生に繋げることを目的とし、成田道や佐倉藩に関わる地を巡り、郷土佐倉への理解を深める。
- ② 募集対象 成人 10人
- ③ プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	11月19日（木）	座学 総論	村田 一男
2	11月26日（木）	散策 佐倉新町～京成酒々井駅	村田 一男
3	12月 3日（木）	散策 京成酒々井駅～公津の杜駅	村田 一男
4	12月10日（木）	散策 公津の杜駅～成田山総門	村田 一男

- ④ 講座を終えて コロナ禍であることから、今回の事業実施にあたり、募集定員を例年の半数とした。コロナ禍にも関わらず、27名の応募があり抽選により10名の受講者を決定した講座は、入室時に検温と、施設利用に関するチェック表の記入をお願いし、机1本に対し1人の使用で実施した。講座は、全4回、座学1回、散策3回、11月19日から12月10日（予備日17日）の毎週木曜日とした。先ず座学による

散策コースの周辺知識を入れてからの散策としたことで学びが深まっていたと感じる。講師の資料の工夫により、座学で配布した資料を持ち歩けたので、現地での確認に繋がり参加者から好評だった。11月から12月の実施で雨天の心配は少ないと思われたが、天候に恵まれた散策は1回だけで、後の2回はこの時期としては強めの寒気と、散策するには判断がしづらい小雨の中での実施となり、参加者が互いに和気あいあいの雰囲気での散策とならなかったのが残念だった。しかし、今回、参加者を10名と、従来の半数にしたことで、散策特有の細く長い列にならず、街道沿いの石塔や石仏の講師説明の際には聞き漏らす参加者も殆どなく、講師の声も届きやすかった。安全確保もしやすく散策に適した人数ではないかと考えた。講座後のアンケートからも、受講者の満足度は高く、街道散策の継続を望む内容が多かった。また、現在の状況を後世の残すことも今後重要となることも学んだようである。

4. 団体育成事業

第47回志津公民館祭

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

定期利用サークル運営研修会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

調理室利用サークル懇談会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

志津ジュニア・リーダーズ・クラブ（志津JLC）支援

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

志津地区の子ども会育成活動

- ① 概要 志津地区子ども会育成連絡協議会は、参加団体の減少により平成10年度から志津子連独自の事業は実施していないが、千葉県子ども会安全会加入手続きの補助のほか、行事に関する情報提供を中心に、子ども会育成者の支援を行っている。
- ② 加入団体 単位子ども会 9団体
- ③ 活動内容
 - ・千葉県子ども会安全会説明会・志津JLC活動紹介
 - ・千葉県子ども会安全会 加入・追加・手続き 受付
 - ・活動支援相談・連絡調整

公民館園芸ボランティア団体 志津園芸サークル「花の輪」への支援

- ① 概要 以前志津公民館で開催していた「園芸講座」を受講した人たちが、公民館や上座公園の敷地内の花壇等の手入れをボランティアとして行い、かつ園芸講座の講師に、引き続き花の知識等を教わりながら、活動を継続している。公民館は、それらにおける園芸・学習活動の支援を継続している。
- ② 主な活動
 - ・公民館敷地内の花壇の手入れ
 - ・上座公園の花の手入れ
 - ・花についての自主学习

公民館インターネット抽選申込体験

- ① 解説趣旨 インターネット抽選に向けてパソコンやスマートフォン等に不慣れな方々に体験してもらう。
- ② 対象団体 公民館利用団体
- ③ 体験内容 「ちば施設予約システム」インターネット抽選申込の体験
- ④ 今後に向けて 視覚障がい者の方も気軽にシステムの利用をしていただけるよう、音声読み上げ機能の実装など、レベルアップ要望をしていく。

5. 広報・展示事業

公民館だより「しづ」の発行

- ① ねらい 公民館活動への理解と、積極的参加をはかることを目的として、公民館主催事業の案内を中心に、地域の話題などについて、紙面を通して発信する。
- ② 発行回数 年2回（4月・10月）
- ③ 発行部数 各回23,000部
- ④ 配布方法 志津地区内に新聞折り込み配布・市内公民館および志津地区内公共施設に配架
- ⑤ 内容

第247号 (令和2年4月15日)	第248号 (令和2年10月15日)
<ul style="list-style-type: none">●インターネットからの施設予約方法●令和2年度志津公民館サークル用ロッカー抽選会●しづ市民大学 受講生募集●乾電池・蛍光管の回収場所変更案内●公民館利用抽選会日程	<ul style="list-style-type: none">●インターネット抽選導入案内●佐倉学講座 成田道を歩く 井野長割遺跡を学ぶ●志津子ども教室 寄せ植え体験講座●成人教育事業 包丁について学ぶ●募集案内（共催事業） 文章講座

- ⑥ 今後に向けて 今年度は、年2回「公民館だより」を発行した。令和2年4月15日発行の第247号では、令和3年度しづ市民大学開講のお知らせと、受講生募集を行った。しかし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、しづ市民大学の中止が決まったため、申込をされた方には中止の連絡を行った。引き続き、志津公民館の情報が幅広い世代に行き渡るよう、新聞への折込みや施設への配布を行っていきたい。